

ゆめ まち びと

『TRI 夢・街・人づくり助成金』

～まちづくり応援プログラム～

事前説明会

日時：平成22年7月20日 19時～
場所：小牧市公民館4階 視聴覚室

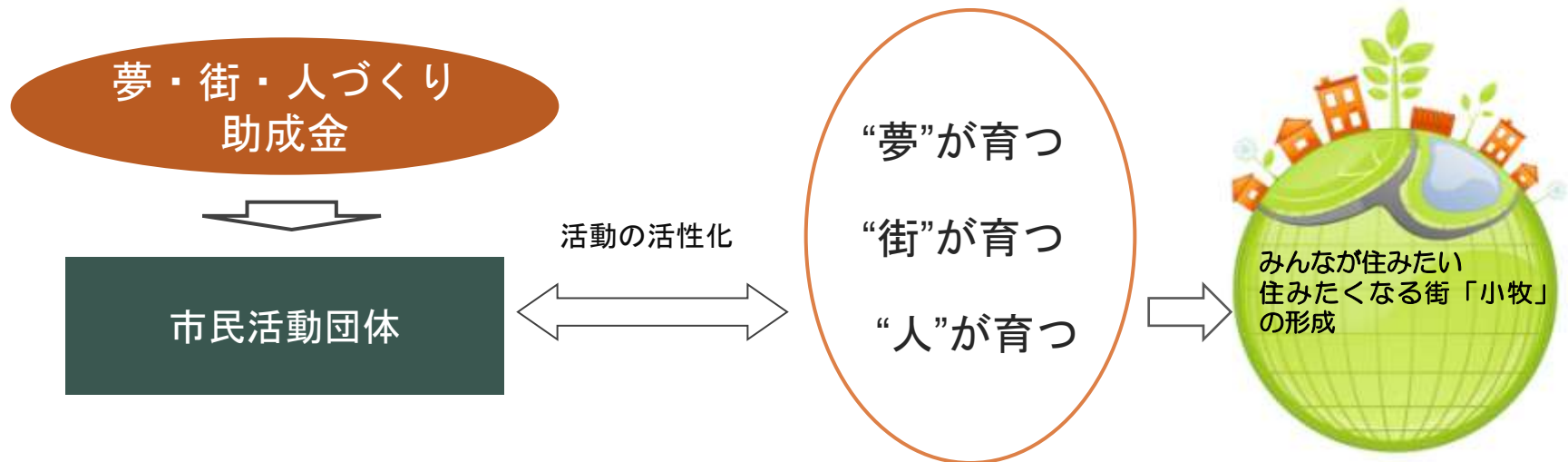


目的

2

- みんなが住みたい街・住みたくなる街をテーマに夢をつくり、人を育て、私たちの街を『自分たちで考え、そして私たちで作っていく』。

そのような取り組みや活動をしている市民活動団体を東海ゴム工業(株)が応援し、この助成プログラムを通じて、少しでも社会問題が解決され『住みたい街・小牧』の形成を目指します。



本助成金の特徴

3

特徴 その1

助成金額の20%までを人件費に充当できます！

特徴 その2

事業の中間でのフォローアップを行います！

注目！！

特徴 その3

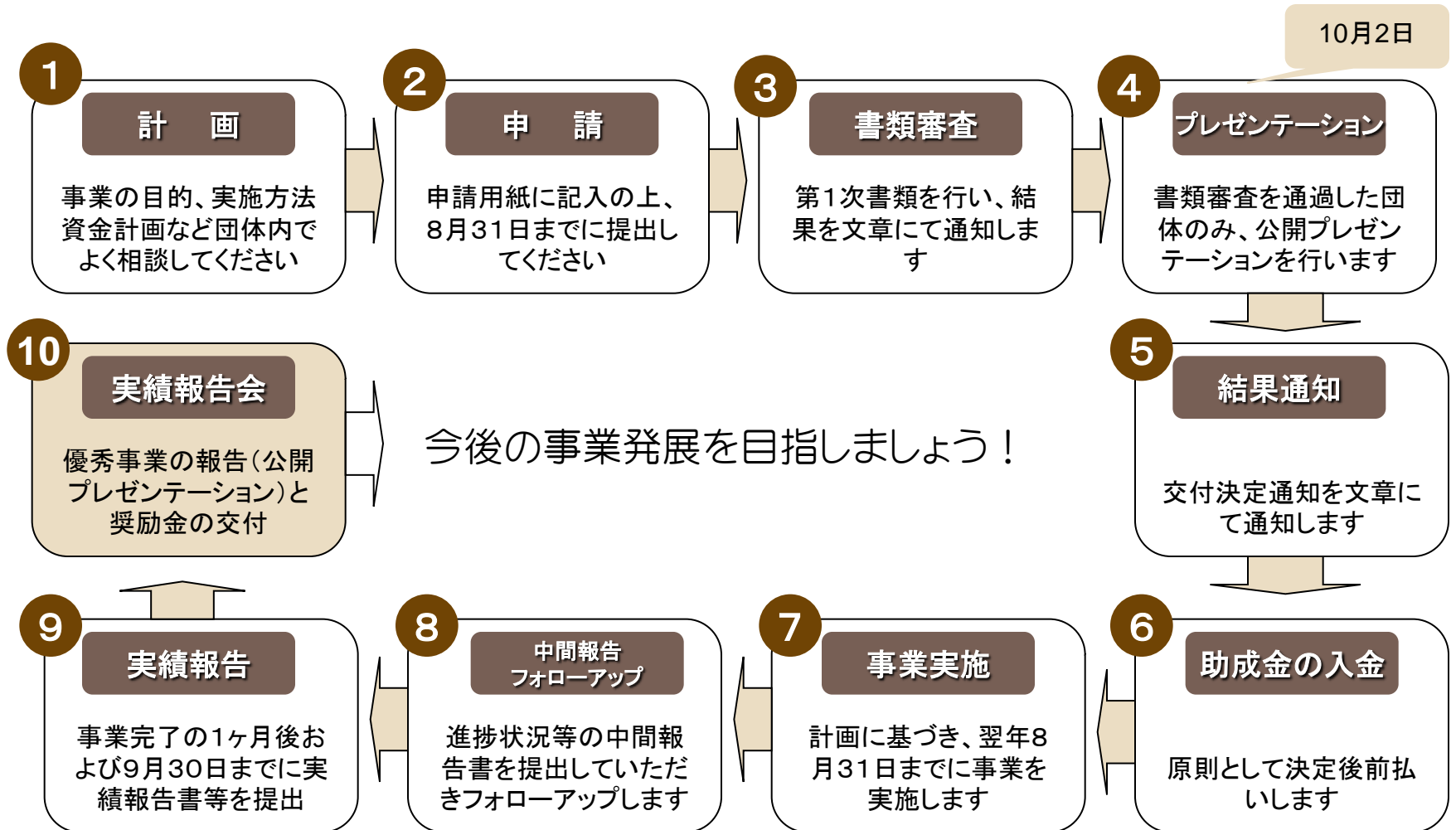
優秀事業には、奨励金を交付します！！



その他、申請書の書き方から事業の進め方、実績報告書の書き方等で不明な点がありましたらいつでもご相談してください。

助成事業の流れ

4



募集要項

1. 助成の対象となる事業

6

□ 東海ゴムが重点的に取り組む5つの分野に関する事業について助成します。

1) 障がい者福祉に関する事業

例えば...

■ 障害者への支援サービスやこころのバリアフリー化の啓蒙・啓発 など

2) 文化・芸術・スポーツの振興を図る事業

■ 芸術家への支援、地域楽団や地域劇団、伝統文化の振興・継承、スポーツ教室の活動 など

3) 青少年の健全育成を図る事業

■ 青少年の健やかな成長を図る活動で、子どもの体験講座や児童相談 など

4) 安心・安全な社会づくりに関する事業

■ 災害に強い地域づくりや防犯活動、子どもや高齢者への啓発 など

5) 環境との共生を図る事業

■ 自然の生態系の一員として、森林の保全、野生動物の保護、リサイクル運動、ゴミ環境改善など、自然環境だけではなく、都市環境や文化的な生活を守る活動もこの分野に入ります。

事業内容に該当するものは上記の例だけではありません。不明な時はご相談ください！！

2. 助成の対象となる団体

7

- 営利を目的とせず、公益的・社会的な活動を持続的に行う市民活動団体（法人格は問わない）であり、以下の要件の**いずれにも該当すること**が必要です。



自分の団体が該当するかチェックしてみましょう！



3名以上の会員がいますか？継続した活動をすでに行っている（または、これから行っていく）団体ですか？



小牧市に活動の拠点を置く団体ですか？



代表者や運営方法が「規約」または「会則」で決まっていますか？



申請した事業を適切に実施できますか？



政治活動、宗教活動を目的としていませんか？



暴力団、もしくは暴力団員の統制化にある団体ではありませんか？



その他の法令、公序良俗に違反する行いはありませんか？

3. 助成できる事業の要件

8



申請事業が該当するかチェックしてみましょう！



小牧市内で行われる公益的な社会貢献活動ですか？

×一部の特定の誰かだけに利益をもたらすものはいけません。

×会員に利益をもたらすことが目的の活動はいけません。



応募団体が主催する事業ですか？

(協働事業も可能ですが、応募団体が主催することが原則です)



助成の対象となる5つの分野のいずれかに該当しますか？



事業の中間報告および、実績報告会にてその成果を報告できますか？



国・県・市町村および他の企業や公益法人から助成を受けてる事業ではありませんか？

○団体の他の事業が助成を受けている場合は申請可能。



申請事業の事業実施期間が、平成22年10月初旬の助成決定日から平成23年8月31日までに実施・完了できるように計画されていますか？

すべての項目にチェックが入りましたか？

4. 助成金額

9

部門名	交付金額	交付団体数
■夢づくりスタート部門	50,000円	4団体
■街・人づくり部門	100,000円	2団体

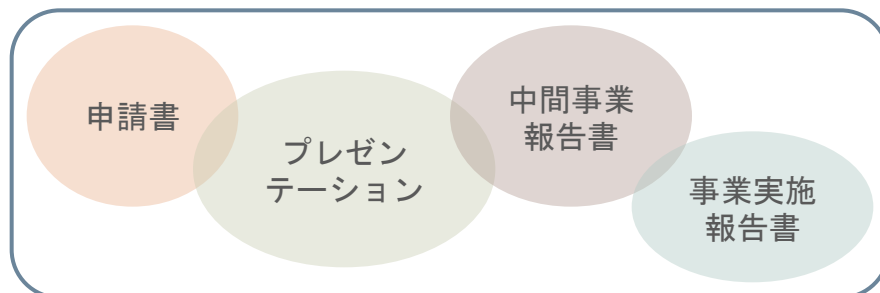


事業の規模や事業全体の経費を考慮して部門を申請してください。



優秀事業には奨励金が交付されます！！

事業終了後の評価・検証後に行う実績報告会にて、優秀な事業を行った団体には奨励金として3万円を別途交付します。(該当がない場合の交付はありません)



最初の申請書からすべて優秀事業決定の審査対象になります！

5. 助成の対象となる経費

区 分	主な対象経費の具体例
人件費	対象事業に直接係る人件費（アルバイトを含む）に限る。 ※但し、助成金額の20%を上限とする。
謝金	講師や指導者、専門家への謝礼 など
旅費・交通費	講師や指導者、専門家への交通費・宿泊費 など（団体構成員の旅費は対象外）
通信運搬費	事業の実施に必要な郵送等の運搬に要する費用 など
印刷製本費	資料、パンフレット、ポスター等の印刷費や製本費 など
消耗品費	事業の実施に必要な文具等の購入費 など
使用料・賃借料	会場、機器等の使用料や借上げ料 など
燃料・光熱水費	事業の実施に必要な光熱水費、事業用車両のガソリン代 など
会議費	事業の実施に必要な会議室使用料 など
保険料	事業の実施に必要な保険料
その他	必要であると審査委員会が認めたもの

6. 助成の対象とならない経費

11

- 市民活動団体の事務所を維持するための経費
- 市民活動団体の経常的な活動及び視察に要する経費
- 団体の構成員に対する謝金および申請事業に直接係らない人件費
- 領収書がない等使途が不明なもの

7. 助成の対象となる事業期間

平成22年10月初旬の交付決定日から(翌年)平成23年8月31日まで

この期間内で行う事業を申請してください！

8. 応募の方法

12

応募期間

平成22年8月1日(日)から平成22年8月31日(火) ※当日消印有効

提出書類

- ①助成金交付申請書
- ②事業計画書
- ③収支予算書
- ④団体の概要書 ※団体の規約、会則または定款の写しを添付してください。
- ⑤会員名簿

規約・会則以外の書類は必ず、所定の用紙に記入の上、すべてを提出すること。

申請先

〒485-0041

小牧市小牧二丁目107番地 小牧市公民館4階
(特)こまき市民活動ネットワーク事務局

申請書の提出は、必ずこまき市民活動ネットワーク事務局へ直接お持ちいただくか、郵送にてお願いします。



電話やFAX・メールでは受付できません！！

✿助成金申請書記入例✿



Point !

申請書の記載ミス、誤字脱字は命取り?!です。しっかりチェックしてから提出しましょう。

内容が分かりやすい事業名称を考えること

TRI①

記入例 シー①

平成 22 年度
TRI 夢・街・人づくり助成金
助成金交付申請用紙

申請日 平成 22 年 8 月 00 日

団体名	00000の会
代表者氏名	東海 太郎

該当する分野は事業内容により複数選択可

1、助成金の区分（申請する部門にチェックを入れてください）

夢スタート部門（50,000円） 街・人づくり部門（100,000円）

2、該当する分野（該当するものにチェックを入れてください）

- 障がい者福祉に関する事業
 文化・芸術・スポーツの振興を図る事業
 青少年の健全育成を図る事業
 安心・安全な社会づくりに関する事業
 環境との共生を図る事業

2、事業名 自然から学ぶ食を通じた子どもの心育て 事業3、事業費総額 156,000 円

申請額ではなく、事業全体にかかる総額を記入

4、助成金申請額 100,000 円

5、添付書類（チェックを入れてください）

- 1) 事業計画書
 2) 収支予算書
 3) 団体の概要書
 4) 団体の規約、会則または定款の写し
 5) 団体の会員名簿

申請金額は、夢スタート部門50,000円、街・人づくり部門100,000円のどちらかを記入

団体の活動目的ではなく、この申請事業の目的と事業の必要性などを分かりやすく記載すること



Point !

審査員に分かりやすいように、箇条書きでも内容はしっかり書き込みましょう。書ききれない場合は別紙に記載も可能ですが、だらだらと焦点が定まらないような書き方はかえってよくありません。

TRI②

平成22年度
ゆめ まち びと
 TRI 夢・街・人づくり助成金

記入例 シー②

事業計画書

団体名	〇〇〇〇〇の会		
事業名	自然から学ぶ食を通じた子どもの心育て事業		
事業期間	平成 22年〇〇月〇〇日 ~ 平成 23年〇〇月〇〇日		
事業費総額	165,000円	助成申請額 (5万・10万)	100,000円
事業の目的	<p>農作物の栽培や収穫体験を通して、子ども達に食べ物の大切さ、自然の大切さを知ってもらい、その農作物が育った大地・水・空気・そして季節や風土に対して興味を持つことを促し、次世代の自然との共生への関心や感謝のこころを育むことを目的とする。</p> <p>また、この事業を行うことで①問題となっている休耕田の活用②世代間交流等の我が市が抱える問題にも寄与する。</p>		
事業の内容	<p>①地域住民との連携による子ども達の種まき、苗植え体験講座 (4月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者一般公募 (20名程度) 農業体験者、地域の老人会の方等に講師を依頼 (講師とは別に教える側でお手伝いしていただける方も一般募集) <p>②栽培途中で、育成状況の見学会と植物や食べ物の大切さ、自然の大切さに関するお話し会の開催 (6月)</p> <p>③収穫祭の開催 (9月)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収穫体験 採れたての農作物を調理して食べてみる 意見交換会 		
事業のスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 〇月 詳細な計画の打合せ・会場や講師の手配 〇月 チラシ等による参加者とお手伝いの公募開始 〇月~〇月 計画に基づいた活動の実施・中間報告書の提出 〇月 事業の振り返り・事業報告書の作成提出 		

※箇条書きで具体的に記入してください。

事業期間は、平成23年8月31日まで

具体的な事業内容と実施時期等を分かりやすく、箇条書きで記載

実際にいつごろ何をするのか、計画性をしっかり、箇条書きで記載

収支予算書

(単価:円)

収入の部

項目	金額	摘要
①夢・街・人づくり助成金	100,000	助成金
②自己資金	50,000	団体会費より
③その他の資金	6,000	参加費@300×20名(保険料・材料代)
合計(A)	156,000	

支出の部

(単価:円)

項目	金額	摘要
人件費	20,000	スタッフ人件費(@2,000×10名)
謝金	10,000	講師への謝礼(@10,000×3回)
交通費	27,000	外部講師交通費(@2,000×2人×3回=12,000) 公事お手伝いスタッフ(@500×10人×3回=15,000)
通信運搬費	6,000	チラシ等送付用印手代(@120×50ヶ所=6,000)
印刷製本費	40,000	チラシ等作成費(紙代・印刷代)
消耗品費	20,000	種、苗、肥料等・調理の体験に使用するもの
使用料	15,000	会場使用料(お話し会場費・調理室等)
保険料	3,000	参加者@100×20名 スタッフ@100×10名
計(B)	141,000	
食糧費	10,000	会議時弁当 打合せ用お茶
物品購入費	5,000	図書購入費
計(C)	15,000	
合計(B+C=A)	156,000	

人件費は助成金額の20%が上限です。また、対象事業に直接関する人の人件費のみ

参加費等の参加者負担分をここに記載。内訳を明確に!

講師謝礼に関しては、外部講師のみに支払うもので団体の構成員が講師をする場合は該当しません

会議等での飲食代は助成対象外経費です

この事業のみで使い切らない消耗品以外、後に団体の財産になるものは対象外です



Point!

どの費用が、対象経費になるか判断に迷う場合は申請書提出時や事前にご相談ください。

申請書記入に関するポイント *Point!*

17

■ この助成金は、団体の行う事業に対して助成するプログラムです。

事業計画書には、その申請事業に関する目的・内容・計画を記載してください。よく見られるのは、事業計画書に団体全体の活動を書いて提出されるものです。

団体の概要書を別に提出していただきますので、そちらで日々の活動を判断できます。

■ 根拠のある数字で予算を立てましょう。

収支予算書はあくまでも予算なので概算ですが、あまりにかけ離れた数字を記載すれば、一般的な金額と照合すれば判断できてしまいます。根拠のある数字を記載するように心がけてください。

■ 誰にでも分かりやすい申請書を目指しましょう。

自分の団体の事を知らない人が見ても、何を目的に何がしたいのか明確に分かるように記載する努力をしましょう。